

# 受講に当たっての注意事項

## ワークシートについて

ワークシートはWe b講座の受講生専用ページで自由にダウンロードできるように設定されております。

テキストの例題を抜粋したワークシートに記入しながら学習を進めてください。

知識の定着を図るためには繰り返し解くことが大切です。そのため、簿記会計ゼミナール（簿記ゼミ）では何度でも解いていただくためにワークシートを自由にダウンロードできるようにしております。

ご自身が納得できるまでワークシートを解いてみてください。

テキストの例題には基本問題から検定試験レベルの問題まで用意しております。きっと、学習を終える頃にはおのずと検定試験合格レベルが身に付いていることだと思います。

## スケジュール表について

We b講座の受講生専用ページでスケジュール表を自由にダウンロードできるように設定されております。

スケジュール表に1週間の勉強の計画表を記入し、PDCA学習法を実践してみてください。

なお、PDCA学習法について3級のテキストP305 から、2級の商業簿記のテキストP406 からの記載されておりますのでご参照ください。

スケジュール表に記入する項目例：第〇回目の授業を見る・ワークシートを解く・テキストを読む

自宅学習をする際、勉強の計画表を全く立てずに学習する方もいると思います。

それだと効率的な学習を進めることができないどころか、ついつい勉強を疎かになってしまう危険性があります。

ついついテレビを見てしまう、ついついお出掛けしてしまうなど勉強を妨げるものはたくさんあり、せっかく始めた学習が途中で辞めてしまう危険性があります。特にこのようなWe b講座は通学とは異なり、強制力がないため途中で挫折してしまう可能性があります。

そこで、簿記ゼミではせっかく始めた学習を途中で挫折することなく最後の最後までやり遂げてほしいという思いから、このようなスケジュール表をダウンロードできるようにしました。

毎週、スケジュール表に記入するのはときには面倒くさいと思うときもあるかもしれませんが、しかし、一度習慣付けることができれば、今後ご自身がその他の勉強するときに大いに役立つことだと思います。

スケジュール表に記入することで、途中で挫折することなく最後の最後まで学習をやり遂げることを切に願います。

## 合格10カ条について

合格10カ条に記載されている事項を実践してみてください。

この10カ条に記載されている事項を1つでも多く実践できれば、合格はおのずと近づいてきます。

合格10カ条を勉強部屋などに張り付けるなどご活用ください。

## 質問方法

授業内容についてのご質問等につきましてはメールにて受け付けます。

このページは切り離して、机に貼るなど目に入る箇所におき、学習の参考にしてみてください。

## We b 講座の配信期間

配信期間に期限はありません。

3級 ユーザー名 bokizemi03 パスワード 03kaetp

# 受講に当たっての注意事項

## 2級講座を受講している方の学習上の注意事項

商業簿記のテキストP1～P51まで3級の復習をしていただくためにWeb講座を用意しております。

3級の出題範囲は当然、2級の出題範囲になります。ですから、P1～P52のWeb講座も必ず見て下さい。

工業簿記のテキストP318のコーヒーブレイクに「早く解くコツ」について記載があります。検定対策として参考にしてみてください。

商業簿記のテキストP383からP394に決算問題が、P395から理論問題があります。こちらも必ず解いてみてください（P383からの決算問題はワークシートがありますので解いてみてください）。

商業簿記のテキストP19,P20について3級の勘定記入について記載があります。最近の2級の第2問で勘定記入の問題が出題されていますので、ワークシートで勘定記入の練習も必ずしておきましょう。

## 3級講座を受講している方の学習上の注意事項

テキストP249のコーヒーブレイクに「時間配分」について記載があります。検定試験は2時間という制約条件で解かないといけません。本番の検定試験ではどのような時間配分で解けば良いか、その指針が記載されています。直前期もしくは本番の検定試験においてご参考ください。

## 3級講座・2級講座を受講している方の学習上の注意事項

2級の商業簿記のテキストP52,P53に、3級のテキストP74、P82、P100、P115に仕訳のコツ①、②、③、④があります。

「簿記は仕訳なり」という言葉があり、「仕訳が得意な人は簿記が得意」、「仕訳が苦手な人は簿記が苦手」というぐらい「簿記＝仕訳」で、簿記を得意になるかどうかは、この仕訳が得意になるかどうかにかかっています。

ですから、上記のテキストのページは必ず一読しておいてください。

また、テキストに記載されている仕訳のコツを読んだら下記の補足説明について読んでみてください。

### 仕訳のコツ①「以前の仕訳を考え、今問われている仕訳を考える」

仕訳が苦手という方、よく仕訳を間違えるという方は以前の仕訳を考えずに答えようとしています。対策として、問題文を読み、以前の仕訳を書き出し、今問われている仕訳を考えてみてください。

多くの通学生を見てきて、仕訳を間違える人の共通点は以前の仕訳を書かずに、すぐに解答の仕訳を書こうとしています。横着をせずに以前の仕訳を必ず書いてから、今問われている仕訳を考えるようにしてください。

### 仕訳のコツ②「計算→仕訳」とするのではなく、「仕訳→計算」とすることが重要

仕訳が苦手という方は、計算を伴う仕訳問題の場合、仕訳を書いていない状態で先に計算しようとしています。計算する前にまずは仕訳を先に書いて、あとから計算し、計算した金額を記入するようにしてみてください。

### 仕訳のコツ④「仕訳をするとき、いつも借方から書くのではなく、ときには貸方から書いていく」

多くの通学生を見てみて、仕訳が苦手、よく仕訳を間違える人の共通点はどんな仕訳でも常に借方から書いています。その理由として考えられるのは、文章を書くとき、常に左から書いていくため、その習性から仕訳も常に借方から書くという人がほとんどです。

「得意先の売掛金¥10,000を現金で回収した」という問題文の場合、仕訳が得意な人は

「 / 売掛金 10,000 」 → 「 現金 10,000 / 売掛金 10,000 」と貸方から書きます。

「売掛金を回収したということは以前、売ったときに借方に売掛金が発生している、その売掛金を回収したらから、まずは貸方に売掛金が計上される」という具合に仕訳が得意な人は、貸方から仕訳を構築していきます。

逆に仕訳が苦手な人はどんなときでも常に借方から仕訳を書きます。この差が徐々に大きな差になり、仕訳が得意か苦手かという差になります。ですから、ときには貸方から書くようにしてみてください。

## 勉強方法について

3級のテキストP280から、2級の商業簿記のテキストP411から「勉強に対するメンタリティー」、「モチベーションについて」、「勉強のルーティン化」、「苦手分野について」、「問題演習の仕方」、「問題演習をするときの注意点」について記載がありますので勉強方法の参考にしてみてください。

# 受講に当たっての注意事項

また、電卓の機能についても3級のテキストP8、2級の商業簿記テキストP8から記載がありますので活用してみてください。

## 直前期間の勉強方法

過去問題集を購入し解く

簿記ゼミのオリジナルテキストでは基本問題だけではなく検定問題まで記載されているため、授業でテキストの内容をきちんと理解していれば、過去問を解けるだけの力が付くようになっております。

ですから、直前期間の勉強方法は過去問題集を解いていただければと十分合格できると考えおります。

テキストの例題をワークシートで何度も解き、もうワークシートはスラスラと解けるという方は過去問題集を購入し、最後のラストスパートを図ってみてください。

その2 簿記ゼミの直前対策講座の受講を希望する

検定試験直前期になってもワークシートはまだテキストを見ないと解けないなどあまり学習が進んでいない、もしくはテキストの内容だけでは不安という方は直前対策講座を申し込みください。

通学生の方は試験2週間前から直前対策講座（模擬試験・ワンポイントレッスン集中講座）をおこなっております。もし直前対策講座をご希望の場合はホームページ上より申し込みください。

なお、直前対策講座は現在、準備中です。準備が整いましたら申し込みを開始します。

## 直前対策講座について

内容：ワンポイントレッスン集中講座（10コマ～15コマ）

（ワンポイントレッスン集中講座1コマ：問題演習の時間20分～50分、解説10分～20分）

会費：11,000円

直前対策問題：PDFで配信

申込受付期間：随時

支払方法：銀行振込（入金が確認後、発送します）

受講方法：簿記会計ゼミナールのホームページより直前対策講座にログイン後、問題をPDFでダウンロードし、解いたあと解説動画を視聴してください。

3級を受講されている方は直前対策期間の勉強方法につきましては過去問題集で十分だと思っております。（3級講座を受講の方で不安という方は通学生用の簿記ゼミオリジナルの直前対策講座をご申し込みください）

ただ、2級は最近、ときどき難解な問題が出題される場合があります。

2級講座を受講の方で直前期間の勉強が不安という方は通学生用の簿記ゼミオリジナルの直前対策講座をご申し込みください。

なお、2級の直前対策講座のワンポイントレッスン集中講座のプリント枚数は約50枚あると思います。

通学生の方はこの50枚ほどのプリントを最後の2週間で徹底的に解いていただくことでラストスパートを図っていただいております。

通学生の方と同じように直前対策講座で最後の追い込みを図りたいという方はメールにて申し込みください。

## 直前対策講座の勉強方法

ワンポイントのプリントを解く → 解説の動画を見る

問題演習 → 解説

ワンポイントレッスン集中講座のプリントを20分程度（問題によっては50分程度）、時間を計って解いたあとは、解説動画をみてください。

直前対策につきましては、現在、準備中です。準備が出来次第、ホームページ上にて申し込みの受付を開始します。